

|                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| 資料提供(投げ込み) 令和7年1月7日(火)       |                        |
| 場所 津市政記者室                    |                        |
| 事務担当課                        |                        |
| 所 属                          | 職・氏 名                  |
| 消防本部 予防課<br>(電話059-254-0356) | 調査担当参事(兼)予防課長<br>上野 功英 |

## 令和6年の火災・救急・救助概況について（速報）

令和6年中の津市内における火災・救急・救助概況の速報は、下記のとおりです。  
(令和6年中の数値は速報値になります。)

### 記

#### 1 火災（担当：予防課違反指導担当／電話059-254-0356）

令和6年中に市内で発生した火災は122件で、前年と比較して19件減少しました。

種別で見ると、「建物火災」が52件で全体の約43%を占めており、そのうち34件が「住宅火災」でした。前年と比較して「建物火災」は7件、「住宅火災」は11件増加しました。

また、「その他の火災」が50件で全体の約41%を占めており、前年と比較して21件減少しました。

火災による死者数は1人で、「住宅火災」によるものでした。

火災原因について、全体では「たき火」、「放火の疑い」、「たばこ」の順に多く、住宅火災では「たばこ」と「こんろ」が最も多く、続いて「配線器具」でした。

#### (1) 火災概況

| 区 分         |          | 令和6年 | 令和5年 | 増減  |
|-------------|----------|------|------|-----|
| 火災件数合計（件）   |          | 122  | 141  | ▲19 |
| 火災種別<br>(件) | 建 物 火 災  | 52   | 45   | 7   |
|             | (内) 住宅火災 | 34   | 23   | 11  |
|             | 林 野 火 災  | 3    | 9    | ▲6  |
|             | 車 両 火 災  | 17   | 16   | 1   |
|             | その他の火 災  | 50   | 71   | ▲21 |
| 死 者（人）      |          | 1    | 2    | ▲1  |
| (内) 住宅火災    |          | 1    | 1    | 0   |
| 負 傷 者（人）    |          | 10   | 14   | ▲4  |

(2) 参考（平成 27 年以降の年間火災件数）

| 年       | 件数  |
|---------|-----|
| 令和 6 年  | 122 |
| 令和 5 年  | 141 |
| 令和 4 年  | 105 |
| 令和 3 年  | 93  |
| 令和 2 年  | 103 |
| 令和元年    | 115 |
| 平成 30 年 | 135 |
| 平成 29 年 | 121 |
| 平成 28 年 | 112 |
| 平成 27 年 | 117 |

2 救急（担当：消防救急課救急担当／０５９－２５４－１６００）

令和６年中の市内における救急出動件数は１８，０９７件で、前年と比較して１３件減少しました。

種別（「その他」を除く）で見ると、「急病」が１１，９６８件で全体の約６６％を占めており、例年同様最も多い割合となっています。次いで「一般負傷」の３，１２０件、「交通事故」の９９４件の順となっています。

(1) 救急概況

| 区 分      | 令和６年   | 令和５年   | 増減   |
|----------|--------|--------|------|
| 出動件数（件）  | 18,097 | 18,110 | ▲13  |
| 搬送件数（件）  | 15,963 | 15,656 | 307  |
| 不搬送件数（件） | 2,134  | 2,454  | ▲320 |
| 搬送人員（人）  | 16,035 | 15,740 | 295  |

(2) 救急種別件数

（単位：件）

| 種 別   | 令和６年   | 令和５年   | 増減   |
|-------|--------|--------|------|
| 火 災   | 11     | 14     | ▲3   |
| 自然災害  | 0      | 0      | 0    |
| 水 難   | 12     | 10     | 2    |
| 交通事故  | 994    | 1,037  | ▲43  |
| 労働災害  | 148    | 149    | ▲1   |
| 運動競技  | 89     | 72     | 17   |
| 一般負傷  | 3,120  | 2,975  | 145  |
| 加 害   | 34     | 28     | 6    |
| 自損行為  | 130    | 140    | ▲10  |
| 急 病   | 11,968 | 11,923 | 45   |
| そ の 他 | 1,591  | 1,762  | ▲171 |
| 合 計   | 18,097 | 18,110 | ▲13  |

(3) 参考（平成 27 年以降の年間救急出動件数）

| 年       | 件数     |
|---------|--------|
| 令和 6 年  | 18,097 |
| 令和 5 年  | 18,110 |
| 令和 4 年  | 17,589 |
| 令和 3 年  | 14,671 |
| 令和 2 年  | 14,242 |
| 令和 元年   | 15,899 |
| 平成 30 年 | 16,445 |
| 平成 29 年 | 14,901 |
| 平成 28 年 | 14,716 |
| 平成 27 年 | 14,306 |

### 3 救助（担当：消防救急課救助担当／電話０５９－２５４－１６０１）

令和６年中の市内における救助出動件数は１８６件で、前年と比較して２３件減少しました。

種別で見ると、「交通事故」及び「建物等による事故」が、それぞれ６７件で、最も多く、これは合計で全体の約７２％を占め、例年と同様に多い割合となっています。

また、「建物等による事故」は、全国的にも増加傾向にあり、「交通事故」と同数の件数となっています。

建物等による事故の原因の多くは、「高齢者が建物内で動けない、建物の外からの呼び掛けに応答がなく安否が確認できない。」というものでした。

#### (1) 救助概況

| 区 分     | 令和６年 | 令和５年 | 増減  |
|---------|------|------|-----|
| 出動件数（件） | 186  | 209  | ▲23 |
| 活動件数（件） | 131  | 141  | ▲10 |
| 救助人員（人） | 119  | 140  | ▲21 |

#### (2) 救助種別件数

（単位：件）

| 種 別      | 令和６年 | 令和５年 | 増減  |
|----------|------|------|-----|
| 火 災      | 1    | 3    | ▲2  |
| 交通事故     | 67   | 83   | ▲16 |
| 水難事故     | 9    | 8    | 1   |
| 風水害等自然事故 | 0    | 0    | 0   |
| 機械による事故  | 2    | 7    | ▲5  |
| 建物等による事故 | 67   | 71   | ▲4  |
| ガス及び酸欠事故 | 0    | 0    | 0   |
| 破裂事故     | 0    | 0    | 0   |
| その他の事故   | 40   | 37   | 3   |
| （内）山岳    | 5    | 5    | 0   |
| 合 計      | 186  | 209  | ▲23 |

(3) 参考（平成 27 年以降の年間救助出動件数）

| 年       | 件数  |
|---------|-----|
| 令和 6 年  | 186 |
| 令和 5 年  | 209 |
| 令和 4 年  | 189 |
| 令和 3 年  | 187 |
| 令和 2 年  | 149 |
| 令和 元年   | 187 |
| 平成 30 年 | 138 |
| 平成 29 年 | 129 |
| 平成 28 年 | 137 |
| 平成 27 年 | 105 |